

## 新たな長期計画の体系案について

### 1 新たな長期計画の構成について

長期計画の構成、並びに計画期間については、次の案を中心に検討していくこととする。

#### (1) 長期計画の構成

次の理由から、「基本構想」「基本計画」「実施計画」の3層構成とする。

- 長期・中期・短期の計画群として、それぞれの役割が明確であり、計画間の関係が整理しやすいこと。
- 全国の自治体、また特別区においても多くの自治体が3層構成の長期計画を策定していること。（資料3-1参照）
- 自治体の一部では、3層構成を2層構成（基本計画・実施計画の統合等）とすることで計画構成のスリム化を図っている例も見られるが、一方で個々の計画内容が肥大化すること。
- 現行の実施計画は、大きな予算を伴うことが想定される事業（主に施設整備事業）の予算確保のための計画という側面が強いため、各行政分野の主要な施策・事業を掲載し、それらの計画的な執行に資する内容として充実を図ること。

#### (2) 長期計画の計画期間の考え方

(1)により長期計画の構成を3層とする場合には、基本計画の下に位置づけられる各種の補助計画が5年から10年としていることを考慮すると、基本計画は10年とすることが妥当であると考え。その場合には、基本構想はおおよそ20年、実施計画は5年以下とすることが計画相互のバランスとして適当である。

種別	計画期間	考え方
基本構想	20年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 長期計画全体の中で、基本計画の上位計画として長期的な方針を示す役割であることから、それにふさわしい期間とする。</li> <li>○ 基本計画の改定時には内容の検証を行い、必要に応じて改定することも検討する。</li> </ul>
基本計画	10年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中期の行政計画として10年の計画期間はふさわしく、他の特別区においても概ね10年計画としている。</li> <li>○ 基本計画の下に位置付けられる補助計画の多くが10年の計画期間としていることから、上位計画として整合を図る。</li> </ul>
実施計画	3～5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基本計画の期間内において、スケジュールの整合を図りながら、2回程度の改定となるよう設定する。</li> <li>○ 財政計画との整合を図る。</li> </ul>

以 上